



第 413 回 つくば分子生命科学セミナー

TSUKUBA MOLECULAR LIFE SCIENCE SEMINAR

演題：単核球系貪食細胞の起源

演者：樗木 俊聡 (おおてき としあき) 先生

東京医科歯科大学 難治疾患研究所生体防御学分野 教授

日時：2014年 7月 30日 (木) 17:00-18:30

会場：医学学系棟 483 室

要旨：

単核球系貪食細胞 (mononuclear phagocytes) は、単球・マクロファージ・樹状細胞 (DC) からなる細胞群の呼称であり、組織恒常性維持ならびに炎症性病態形成において中心的な役割を担う。我々は、マウス骨髄中に DC 前駆細胞 (共通 DC 前駆細胞、CDP) を同定し報告してきた¹。他グループからは単球・マクロファージのみに分化する前駆細胞 (共通単球前駆細胞、cMoP) も報告されている²。とりわけ炎症病態においては、単球が組織に浸潤しマクロファージや DC (単球由来 DC) に分化、病態構築に関与することも知られている。また、マクロファージの源として、単球以外に胎生期卵黄嚢や肝の前駆細胞も報告されている³。これらマウスでの研究に加え、昨年にはヒト DC 前駆細胞の報告もあった。今回のセミナーでは、単核球系貪食細胞の源となるこれら前駆細胞研究の動向を、我々の研究を含めながら紹介したい。

参考文献

1. Onai N. et al. *Nat Immunol* 8, 1207-16 (2007); *Immunity* 38, 943-57 (2013); *Immunity* 41, 5-7 (2014), Preview
2. Hettinger J. et al. *Nat Immunol* 14, 8231-30 (2013).
3. Varol C. et al. *Annu Rev Immunol* 33, 643-75 (2015).

本セミナーは、人間総合科学研究科「医学セミナー」の単位に換算されます。

また TSMM セミナーは、医科学セミナーII に関連したセミナー (世話人: 久武 幸司) でもあります。

連絡先: 筑波大学医学医療系 高橋 智 (内線 7516、satoruta@md.tsukuba.ac.jp)

【筑波分子医学協会 (TSMM) 主催】 HP <http://www.md.tsukuba.ac.jp/public/tsmm/>

TSMM セミナー担当 筑波大学医学医療系 西村 健